

## 学生委員会 2020年度活動報告

### I. 学生委員会の活動方針

学生委員会は、本学の学生に関して、以下の事項に関して、委員会で審議し活動を行っている。

- 1) 学生の課外活動に関する事項
- 2) 学生の福利厚生及び健康管理に関する事項
- 3) 学生の生活相談及び指導に関する事項
- 4) 奨学金及び授業料の減免に関する事項
- 5) 学生の賞罰に関する事項
- 6) その他学生に関する事項

### II. 委員会委員

里村恵子：作業療法学科准教授（委員長）  
佐藤 章：作業療法学科教授  
田畑 稔：理学療法学科教授  
菊地みほ：作業療法学科准教授  
杉山真理：理学療法学科講師  
齋藤久恵：作業療法学科講師

### III. 委員会活動

委員会開催前に学生部定例会議を開催

会議構成員【里村学生部長，菊地准教授，佐久間学生部部長（事務局），山本主任（事務局）】

1. 2020年5月25日に第1回会議を開催した。  
年間スケジュール，特に学生健康診断，学生団体設立の方向性，学生相談室の状況，奨学金申請状況の情報共有を行った。
2. 2020年6月1日に第2回会議を開催した。  
学生教育研究災害傷害保険，賠償責任保険，自転車，バイク通学についての検討，大学マスコット名称の応募状況と学生の投票方法の検討を行った。

3. 2020年6月8日に第3回会議を開催した。  
大学マスコット名称の応募状況，奨学金申請状況について情報を共有した。
4. 2020年6月22日に第4回会議を開催した。  
保健室，学生相談室の整備について検討した。

学生委員会

1. 2020年7月10日に第1回学生委員会を開催した。初めに学生委員会の各委員の紹介，委員会の開催方法の確認を行った。引き続き次の事項を検討，審議した。大学マスコット名称の募集の経緯と今後の募集要項，学生相談の状況と運営方法，学生保険，自転車バイク通学，保健室整備，各種奨学金申請，8月1日のオリエンテーション内容，学生健康診断等。
2. 2020年8月13日に第2回学生委員会を開催した。マスコット名称の募集方法を審議した。保健室月次利用状況報告書フォーム，学生相談室対応報告書フォームを検討した。自転車通学の状況，保健室の整備状況，奨学金申請状況などについて報告があった。また学生健康診断の結果，ウイルス抗体価検査で基準値に満たない学生については，実習に備え，自費でのワクチン接種が必要であることと，学生個人への指導は実習委員会へ依頼することを審議した。  
学生団体設立の必要構成人数基準（10名以上）の緩和希望について，運営会議へ上申することになった。  
保健室勤務の看護師が採用され，対面授業日の10時半から13時半まで勤務することが報告された。
3. 2020年9月10日に第3回学生委員会を開催した。自転車通学許可申請者の審査を行った。学生掲示板の運用開始，学生健康診断の実施の

報告が行われた。11月に予定されていた大学祭については、新型コロナウイルス感染症のため今年度は中止することが報告された。

4. 2020年10月8日に、第4回学生委員会を開催した。学生部保管の学生調書のコピーを学科長、担任へ提供する件を審議し、個人情報保護委員会へ提供方法を含めて検討を依頼することになった。「日本学生支援機構」から学生支援を目的とする新型コロナウイルス感染症対策に関する助成案内があり、助成金交付申請を行うことを審議した。
5. 2020年11月12日に第5回学生委員会を開催した。学生調書については、個人情報保護委員会での検討結果、担任及び学科長へ紙媒体で提供し、施錠の上保管が報告された。禁煙教育の必要性が検討され、授業内での実施を検討することになった。大学マスコットの名称への学生の人気投票をもとに、学長との最終審査により、学生投票の結果通り名称が決定した。

学生相談室の週1回程度の開放希望が学生

から出され、検討された。

年末年始の休暇前には、学生に向けてUNIVERSAL PASSPORTを通じて「冬休み中の過ごし方について」による諸注意を行った。

#### IV. 委員会議事録(サイボウズOffice会議議事録に収載)

1. 第1回学生委員会
2. 第2回学生委員会
3. 第3回学生委員会
4. 第4回学生委員会
5. 第5回学生委員会

#### V. その他

1. 学生委員会規程(資料1参照)

(文責 里村恵子)

## 教務委員会 2020年度活動報告

### I. 教務委員会の活動方針

教務委員会は、本学の学生及び教職員に関して、以下の事項について審議し活動を行っている。

- 1) 教育に係る規程の制定及び改廃に関する事項
- 2) 編入学, 転学科, 転入学等に関する事項
- 3) 教育課程に関する事項
- 4) 他教育機関との連携に関する事項
- 5) 社会(産業界等)と連携する教育に関する事項
- 6) 学位に関する事項
- 7) その他教務に関し必要な事項
- 8) 図書に関する事項
- 9) 紀要に関する事項

### II. 委員会委員・部員

#### (1) 教務委員会

- 鳥居昭久 : 理学療法学科准教授(委員長)  
草野修輔 : 作業療法学科教授(図書室長)  
佐藤 章 : 作業療法学科教授  
田畑 稔 : 理学療法学科教授(紀要編集部部长)  
江幡真史 : 理学療法学科教授(展開科目部部长)  
五十嵐広明 : 理学療法学科教授  
近野智子 : 作業療法学科准教授  
齋藤久恵 : 作業療法学科講師  
重國宏次 : 理学療法学科助教  
有本邦洋 : 理学療法学科助教

#### (2) 専門部会部員

##### 1) 図書部会

- 有菌暢子 : 理学療法学科助教(部部长)  
草野修輔 : 作業療法学科教授(図書室長)  
有本邦洋 : 理学療法学科助教  
佐藤淳矢 : 作業療法学科助教

##### 2) 紀要編集部会

- 田畑 稔 : 理学療法学科教授(部部长)  
草野修輔 : 作業療法学科教授  
片岡幸彦 : 作業療法学科教授  
猪俣英輔 : 作業療法学科准教授  
菊地みほ : 作業療法学科准教授  
大矢暢久 : 理学療法学科講師  
杉山真理 : 理学療法学科講師  
富田義人 : 理学療法学科講師

##### 3) 展開科目部会

- 江幡真史 : 理学療法学科教授(部部长)  
片岡幸彦 : 作業療法学科教授  
柳澤孝主 : 作業療法学科教授

### III. 委員会活動

#### 1. 7月6日(月)第1回定期教務委員会

委員会規程の確認, 図書部会の発足, 庶務担当が教務部であることの確認, 8月対面授業開始にむけての入学セレモニーおよびオリエンテーションについて確認した。7月末で学修アドバイザーは一旦終了し担任制に移行すること, コロナウイルス感染第2波到来によるオンライン授業体制の可能性に備えての各教員への準備依頼, UNIPA操作説明会の開催, 紀要編集部会の設置などの審議をおこなった。

#### 2. 7月27日(月)第2回定期教務委員会

入学セレモニー・オリエンテーションの内容などの最終確認。発熱者が出た場合に迅速に対応するための補助教員のクラス配置, 前期試験日程, 教務委員会定例会日程, オフィスアワーの連絡方法などについての審議を行った。

#### 3. 8月24日(月)第3回定期教務委員会

後期授業の実施方法, 前期試験日程, 試験実施要項の確認。欠席数が多い学生への対応について

審議した。

4. 9月24日(木)臨時教務委員会

欠席多数学生の対応について審議した。

5. 9月28日(月)第4回定期教務委員会

前期試験、再追試験の日程などについて確認。欠席多数学生への対応、実習科目欠席数に関する事項の確認。学生日直、成績不振学生フォロー、試験結果通知方法などを審議した。

6. 10月12日(月)臨時教務委員会

試験結果を受けて、成績不振学生への対応について審議した。

7. 10月26日(月)第5回定期教務委員会

全クラスの担任は教務委員会メンバーに加えることとした。紀要編集部会発足。成績不振者に対する対応、欠席者に対する対応を審議した。コロナウイルス感染に関連して、公欠の扱いなど別途関係者にてルールを審議する。

8. 10月26日(月)臨時教務・学生合同委員会

2021年度入学生に対する入学前教育について、2021年度学年歴、年間予定について審議した。

9. 11月9日臨時教務委員会

前期試験不合格者への対応について審議した。展開科目部会の設置、コロナウイルス感染関連の公欠についての手続きなどの確認。日本リハビリテーション専門学校と連携しての統一模擬試験の実施について審議した。

10. 11月30日(月)第6回定期教務委員会

展開部会メンバーについての報告。学生のPC購入促進について、2021年度クラス分け、臨床福祉専門学校学生講話、統一模擬試験、レポート不正作成に対する対応などを審議した。

11. 12月21日(月)第7回定期教務委員会

学生購入PCについて、2021年度学年歴、前期成績再評価、後期出欠状況について確認。次年度担任、定期試験不正行為規定などについて審議した。

12. 2月8日(月)第8回定期教務委員会

欠席超過学生について、統一模擬試験準備状況、入学前教育実施概要およびスケジュール、2021年度オリエンテーション、2021年度授業実施方針(幹部会議結果)についての確認。展開科目部会報告。原級扱い、転科などについて審議した。

13. 2月12日(金)臨時教務委員会

転学科、進級基本方針、学籍異動希望学生対応について審議した。

#### IV. 図書部会、展開科目部会、紀要編集部会活動

別途サイボウズ Office 内に会議録収載

#### V. 委員会議事録

別途サイボウズ Office 内に議事録収載

#### VI. その他

教務委員会規定(資料1参照)

(文責 鳥居昭久)

## 保健衛生委員会 2020年度活動報告

### I. 保健衛生委員会の活動方針

保健衛生委員会は、本学の学生及び教職員に関して、以下の事項に関して、委員会で審議し活動を行っている。

- 1) 学生及び教職員の健康の保持増進を図るための基本対策事項
- 2) 学生及び教職員の健康阻害を防止するための基本対策事項
- 3) 学生及び教職員のメンタルヘルス対策に関する事項
- 4) 就労及び就学上の災害の原因並びに再発防止対策に関する事項
- 5) 学生及び教職員の安全並びに健康に関して学長からの諮問に関する事項
- 6) その他学生及び教職員の安全並びに健康に関する事項

### II. 委員会委員

草野修輔：作業療法学科教授(委員長)

里村恵子：作業療法学科准教授

坂本俊夫：作業療法学科准教授

杉山真理：理学療法学科講師

秋元美穂：作業療法学科講師

加藤剛平：理学療法学科講師

森本晃司：理学療法学科講師

### III. 委員会活動

1. 2020年7月15日に第1回保健衛生委員会を開催した。初めに、保健衛生委員会の各委員の紹介、委員会の活動目的、活動範囲の確認を行った。引き続き、各種検討事項(学生・職員の健康診断、新型コロナウイルス感染症予防対策、メンタルヘルスケア等)について審議した。
2. 2020年7月20日に第1回臨時保健衛生委員会を開催し、新型コロナウイルス感染予防対策、メンタルヘルスケア、学内での緊急時の対応について審議した。
3. 2020年7月29日に第2回臨時保健衛生委員会を記載し、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の基準と対応方法、実技・演習を伴う対面授業にあたっての留意事項について検討した。また日々の体調管理のために自己健康管理票を作成した。
4. 2020年8月12日に、第2回保健衛生委員会を開催し、保健衛生委員会調査票(実技・演習/校内・外の緊急事態)、自己健康管理票の提出状況、保健室の利用状況などについて報告があった。また夏季における猛暑対策について検討された。
5. 2020年8月24日に第3回臨時保健衛生委員会を開催し、新型コロナウイルス感染予防対策に関連し、学生の発熱時の対応方法や連絡方法、学内での感染予防のための各種注意喚起のための掲示物を検討した。
6. 2020年9月14日に第3回保健衛生委員会を開催し、感染症関連廃棄物の処理方法についての報告、実技や演習を伴う対面授業における教員の対応についての調査報告がなされた。
7. 2020年10月12日に第4回保健衛生委員会を開催し、教員アンケートに対するQ&A報告書を確認した。またメンタルヘルスに関連して、カウンセリング外部委託について検討が行われた。
8. 2020年11月9日に第5回保健衛生委員会を開催し、見学実習にあたっての新型コロナウイルス感染予防対策マニュアルが検討された。また、ストレスチェックをどのように行うか

について検討された。

9. 2020年12月14日に第6回保健衛生委員会が開催され、体験・見学実習実施対応方針について検討を行った。また、大学教職員勤務時間外の緊急時対応の当番教職員について検討を行った。

#### IV. 委員会活動に関連する資料(サイボウズOffice委員会記録に収載)

1. 新型コロナウイルス感染症に関連した資料
  - 1) 自己健康管理票
  - 2) COVID-19報告書
  - 3) 発熱時の対応フロー
  - 4) 体調不良者の取り扱い

#### V. 委員会議事録(サイボウズOffice会議議事録に収載)

1. 第1回保健衛生委員会
2. 第1回臨時保健衛生委員会
3. 第2回臨時保健衛生委員会
4. 第2回保健衛生委員会
5. 第3回臨時保健衛生委員会
6. 第3回保健衛生委員会
7. 第4回保健衛生委員会
8. 第5回保健衛生委員会
9. 第6回保健衛生委員会

#### VI. その他

1. 保健衛生委員会規程(資料1参照)

(文責 草野修輔)

## 研究倫理・研究推進委員会 2020年度活動報告

### I. 研究倫理・研究推進委員会の活動方針

研究倫理・研究推進委員会は、本学の学生及び教職員に関して、以下の事項について審議し活動を行っている。

- 1) 学内研究の運営と整備に関する事項
- 2) 研究活動における倫理の啓発と不正行為防止の計画立案及びその実施に関する事項
- 3) 研究活動上の不正行為に係る調査に関する事項
- 4) 科学研究費補助金等外部の研究資金の導入に関する事項
- 5) その他、研究活動の倫理的遂行及び推進に関する事項

### II. 委員会委員

- 草野修輔 : 作業療法学科教授 (委員長)  
佐藤 章 : 作業療法学科教授  
田畑 稔 : 理学療法学科教授  
佐々木博之 : 作業療法学科教授  
鳥居昭久 : 理学療法学科准教授  
小野寺哲夫 : 作業療法学科准教授  
武井圭一 : 理学療法学科講師  
有菌暢子 : 理学療法学科助教

### III. 委員会活動 (詳細は議事録を参照)

1. 2020年8月24日に第1回研究倫理・研究推進委員会を開催した。初めに、保健衛生委員会の各委員の紹介、委員会の活動目的、活動範囲の確認を行った。引き続き、研究倫理審査のフローチャートの確認、研究倫理教育・コンプライアンス教育プログラムの検討を行った。また利益相反マネジメント規程の確認と、利

益相反自己申告書の様式についても検討を行った。さらに個人研究費規程の確認を行った。

2. 2020年9月8日に第2回研究倫理・研究推進委員会を開催した。第1回目の委員会で提案された各種書類についての確認と、研究倫理審査申請書様式について審議した。
3. 2020年10月19日に第3回研究倫理・研究推進委員会を開催した。研究倫理審査申請書の最終確認を行った。
4. 2020年11月16日に第4回研究倫理・研究推進委員会を開催した。研究倫理・研究推進委員会のメンバーについて有菌暢子助教が、新たに委員として加わる案件について了承された。研究倫理教育及びコンプライアンス教育プログラムの状況報告があった。利益相反に関する自己申告の取り扱いについてについて検討された。理学療法学科の先生から研究倫理申請があり、その申請の取り扱いについて審議した。
5. 2020年12月14日に第5回研究倫理・研究推進委員会を開催した。第3回の研究倫理・研究推進委員会に申請があった理学療法学科の先生の研究倫理審査申請について最終審査を行い、承認された。また理学療法学科の先生より新たに研究倫理申請があり、対応を検討した。事務局より研究活動スタート支援の公募について情報提供があった。
6. 2021年1月18日に第6回研究倫理・研究推進委員会を開催した。個人研究費の収支簿・購入フローについて事務局より説明があった。また利益相反自己申告書の提出状況、研究活動スタート支援の学内応募状況についてについて報告があった。理学療法学科から1名、作業療法学科から2名の研究倫理申請があり、取

り扱いについて審議した。

7. 2021年2月8日に7回研究倫理・研究推進委員会を開催した。事務局より利益相反自己申告書の提出状況、研究活動スタート支援の学内応募状況について報告があった。第5回の研究倫理・研究推進委員会に申請があった研究倫理審査申請について審査を行い、一部修正することで承認することとなった。
8. 2021年2月22日に第8回研究倫理・研究推進委員会を開催した。理学療法学科から1名の研究倫理申請があり、取り扱いについて審議した。第6回の研究倫理・研究推進委員会で研究倫理審査を行い、一部修正することで承認された3名について、修正箇所を確認し、最終承認となった。

#### IV. 委員会活動に関連する資料(サイボウズOffice委員会記録に収載)

1. 研究倫理委員会への各種申請書
2. 研究倫理・コンプライアンス教育プログラム
3. 利益相反自己申告書

#### V. 委員会議事録(サイボウズOffice委員会議事録に収載)

1. 第1回研究倫理・研究推進委員会
2. 第2回研究倫理・研究推進委員会
3. 第3回研究倫理・研究推進委員会
4. 第4回研究倫理・研究推進委員会
5. 第5回研究倫理・研究推進委員会
6. 第6回研究倫理・研究推進委員会
7. 第7回研究倫理・研究推進委員会
8. 第8回研究倫理・研究推進委員会

#### VI. その他

1. 研究倫理・研究推進委員会規程(資料1参照)
2. 利益相反マネジメント規程(資料2参照)

(文責 草野修輔)



## 教育課程連携協議会 2020 年度活動報告

令和3年1月26日(火)13時30分～15時30分、  
第一回 東京保健医療専門職大学 教育課程連携協  
議会を本学会議室及び Zoom を併用し開催。以下  
に本協議会の位置づけ及び当日の内容等について  
報告する。

### I. 教育課程連携協議会の位置づけにつ いて(本学の設置の趣旨より)

専門職大学設置基準第11条に基づき、業界・  
産業界及び地域社会との連携により、教育過程  
を編成し、本学の管理運営を円滑かつ効果的に実  
施するために「教育課程連携協議会」を設置する。

教育課程連携協議会に関する事項は、「教育課  
程連携協議会運営規程」に定める。

2020(令和2)年4月1日に教育課程連携協  
議会を設置し、産業界等との連携を図り、教育課  
程を自ら開発、開設、改善のため不断の見直しを行  
う。

#### (1) 審議事項

教育課程連携協議会では、次に掲げる事項につ  
いて審議する。

- 1) 業界、産業界及び地域社会との連携による  
授業科目の開設その他教育課程の編成に関  
する基本的な事項
- 2) 業界、産業界及び地域社会との連携による授  
業の実施その他教育課程の実施に関する基  
本的な事項及び実施状況の評価に関する事  
項
- 3) 「本学の自己点検・評価及び文部科学省の第  
三者評価機関による第三者評価」の結果に  
関する事項

#### (2) 構成員(20人)と任期

教育課程連携協議会の構成員と任期は以下のと

おり

| 構成員の種類   | 任期 | 人数   |
|--|----|------|
| 学長が指名する教職員   | 2年 | 5人   |
| 本学の教育課程に係る職業に就いて<br>いる者又は当該職業に関連する<br>事業を広範囲に行なう団体の関係<br>者 |    | 2人※1 |
| 地方公共団体の職員、地域の事業<br>者による団体の関係者等                             |    | 1人※2 |
| 臨地実務実習、その他授業におい<br>て本学と連携する事業者                             | 1年 | 9人※3 |
| 本学の教職員以外の者であって学<br>長が必要と認める者                               |    | 3人※4 |

※1理学療法士・作業療法士の職能団体より各1名

※2江東区福祉部地域ケア推進課職員

※3実習先8名、授業の共同開発連携企業代表者1名

※4リハビリテーション、社会福祉分野の学識経験者

#### (3) 年間の開催回数

年2回開催する。さらに必要に応じ、臨時の協  
議会を開催する。※但し、2020年度は、コロナ禍  
を勘案し、構成員の賛同を得て1回の開催とした。

### II. 配布資料について(サイボウズ Office 教育課程連携協議会記録に収載)

#### 【事前送付資料】

教育課程連携協議会 式次第

資料①：大学概要

資料②：教育課程連携協議会構成員名簿

資料③：教育課程連携協議会について

資料④：東京保健医療専門職大学教育課程連携協  
議会運営規定

資料⑤：ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・  
ポリシーについて

資料⑥：教育課程等の概要(理学療法学科)

資料⑦：教育課程等の概要(作業療法学科)

### 【当日使用資料】

当日資料①：専門職大学における教育課程について

当日資料②：令和2年度 学生状況報告

当日資料③：令和2年度授業実施状況

～コロナウイルス感染拡大の中で～

当日資料④：A先生からの意見

当日資料⑤：B先生からの意見

当日資料⑥：C先生からの意見

### Ⅲ. 当日の内容(サイボウズOfficeに議事録を収載)

#### 1. 理事長(小林光俊)挨拶

冒頭挨拶として、本協議会の構成員の先生方への謝辞と本日賜った意見をカリキュラムや教育に活かし、不断の改善を図っていく決意を述べた。

#### 2. 学長(陶山哲夫)挨拶

挨拶を兼ね、専門職大学制度の概要と本学の特色について、資料①を使って説明がなされた。

#### 3. 構成員の紹介と本日の出席状況(事務局)

構成員について、資料②を使用し説明するとともに、本日の出席状況について、会議室での出席5名、オンラインでの出席7名、委任状提出4名の合計16名であり、成立要件で定められる2/3の出席を超えているため、規程通り成立している旨を報告した。

#### 4. 副議長の選出

規程に則り、議長より副議長をリハビリテーション学部長佐藤章に指名していることを報告し了承を得た。

#### 5. 専門職大学における教育課程連携協議会の位置づけ(佐藤学部長)

資料③に基づき、確認を含め説明を行なった。

#### 6. 東京保健医療専門職大学 教育課程連携協議会運営規定について(佐藤学部長)

資料④を使用し、説明を行なった。

#### 7. 本学の教育課程について(鳥居教務部長)

資料⑤⑥⑦及び当日資料①を使用しながら、「ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーについて」「科目群の説明(基礎科目、職業専門科

目、展開科目、総合科目)について」「専門職大学のカリキュラムと卒業単位について」を説明した。

#### 8. 令和2年度の状況報告

① 学生関係(応募者数、合格数、入学者数、クラス編成等)(佐藤学部長)当日資料②を使って報告

② 授業関係(新型コロナウイルス感染症への対応)(鳥居教務部長)当日資料③を使って報告

③ 地域連携について(佐藤学部長)具体的に上がっている連携項目(出前授業、公開講座、介護予防、高齢者支援、障がい者支援など)をあげ、江東区と地域連携を進めている旨を説明

#### 9. 構成員の先生方からのご意見等

##### 【事前に頂いた先生方の意見等】

##### ① A先生

- ・「学生をいかなる専門職に育成するか」を自由に多角的に論じること(アカデミック・フリーダム)
- ・今後リハビリテーション分野の新任大学教員が「教育学」履修が必要となることに鑑み、既存教員にも履修を勧奨すること
- ・キュア・ケア対象者を全人的に掌握する能力を涵養するために「専門科目」と「教養科目」の均等性を重視すること
- ・「大器晩成型」でも、自身の関心のある分野だけでなく、広い視野で全体像を十分に把握できるような有能な人材を輩出するという専門職大学の理念を実践する覚悟を持って育成に臨んで欲しい。
- ・教材選択では、学科会議での審議などを通じ、学生が利用し易い、公正で偏りのない選択をすること。

##### ② B先生

- ・予てより協力頂いている教職員の方々に加え、学生の皆さんの当センターの利用者支援を含めた障がい者スポーツ事業への協力を検討頂きたい。

##### ③ C先生

- ・専門分野のリーダーを養成することに鑑み、

選抜段階で十分な能力を持つ、生徒を見抜いて欲しい。

- ・一般大学との違いを前面に出すため、実践分野のカリキュラムに重点に置くべき（具体的な複数のポイントを提示）
- ・大学と地域が共生する具体的なプランの提示して欲しい。

#### 【当日頂いた先生方の意見等】

##### ④ D先生

担当している「社会人基礎力」の授業で、学生が障がい者の作業場を見学した際に「障がいを持った人が、何でその作業が出来るのか」「どのようにすれば作業がし易いか」など興味を持ち、目を輝かしていた。リハビリのその先で働くための支援、QOLを向上させるための支援について思いが至った様子だった。共生社会を目指す中で、単に技術やスキルだけでなく、社会で人と関わる態度を学ぶ機会を提供していきたい。

##### ⑤ E先生

知的障がい・身体障がい・高齢者など、年齢、人種等様々な方の支援を行っており、また生活の場も持っている。学生たちに来てもらい、是

非障がいを持った人達と生活を共にするという体験を持って欲しい。

##### ⑥ F先生

- ・現場の若い人たちはチームアプローチにおいて苦手な方が多く、そのため仕事から離脱してしまうので、より一層重点的にやって欲しい。
- ・地域性は大きなテーマであり、地域を如何に理解するかも大切であり、この点にも注力頂きたい。

※各先生方の意見に対し、本学教員の構成員よりコメントをし、意見交換・協議を行った。

10. 理事長より構成員の先生方の意見に対し謝辞を述べ、今後引き続きのご指導の依頼を行った。

## IV. その他

1. 学生委員会規程（資料1参照）

（文責）

- ・林 正志（東京保健医療専門職大学・事務局長 兼 学校法人敬心学園 本部副本部長）